

商業科（電子商取引）学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 履修単位数 3単位
- 2 実施日時 令和 3年○○月○○日（○） 第○時限
- 3 学 級 ○○HR（○○名）
- 4 使用教科書 電子商取引 新訂版 （実教出版）
- 5 単 元 名 第3章 第3節 ウェブデザイン制作の基礎
- 6 単元設定の理由 ○単元観

現代社会は、人工知能（AI）が様々な場面で活躍し、身近な物の動きがインターネット経由で最適化されるIoTが広がるなど、絶え間なく技術革新が進み、予測困難な時代を迎えている。学校現場も新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、ICTの活用やGIGAスクール構想が一気に加速した。科目「電子商取引」においても、ビジネスの場面を想定し、実践的・体験的な学習活動を通して、情報通信ネットワークを活用した基本的な知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育成する。

○生徒観

本学級は、○○科○学年○○名で構成されている。情報処理検定やビジネス文書実務検定の上級合格者も少数で、ビジネス情報や電子商取引の学習内容の活用や、自主的・主体的に学習に取り組む意識がまだまだ足りない。このことから、生徒がビジネスや実社会に即した課題を見つけ、ICTを活用し、試行錯誤をしながらよりよい解決策を導き出せる一連の学習が必要であると考え。

○指導観

本単元の指導では、電子黒板を活用し、ウェブページ制作の基本的な知識や技術を理解させるとともに、1人1台端末を使用した簡単なウェブページ制作のワークシートをMetaMoj i Classroomで配布し、リアルタイムでモニタリングし、ワークシートを共有した協働学習を行う。本校で実際に取り組んでいる商品開発学習、学校行事等の画像を使用したウェブページ制作を通して、目的に応じたウェブページの制作方法やソフトウェアの活用法を学習し、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身に付けた生徒を育てたいと考える。

- 7 単 元 の 目 標 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
・タグによるウェブページ作成に関心を持っており、意欲的に実習に取り組んでいる。 ・ウェブページ制作に関心があり、意欲的に実習に取り組んでいる。	・HTML, CSS, JavaScriptを理解し、これらを使用して考えたウェブデザインを表現している。 ・ウェブページ作成ソフトウェアを使用し、設計したウェブデザインを表現することができる。	・HTML, CSS, JavaScriptの記述方法を理解している。 ・ウェブページ作成ソフトウェアの使用方法を習得し、ウェブページを作成することができる。	・HTML, CSS, JavaScriptの意義や役割を理解し、基本的な使用方法を説明することができる。 ・ウェブページ作成ソフトウェアの使用方法を理解している。

9 指導と評価の計画

- | | | |
|-----|---------------------|------------|
| 第1次 | タグの直接入力による制作 | 1時間 |
| 第2次 | ウェブページ作成ソフトウェアによる制作 | 2時間（1／2本時） |

	【ねらい】・◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	・HTMLの基本的なタグやスタイルシート (CSS), JavaScriptの利用方法を理解させるとともに, ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で, ウェブページを作成する基本的な技法を習得する。	◎			◎	・ウェブページの制作に主体的に取り組み, ソフトウェアなどを利用したウェブページ制作の基本的な知識・技術を身につけようとしていたか。また, HTML, スタイルシート, JavaScript の仕組みを理解し, ウェブページに設定できたか。
第2次	・ウェブページ作成ソフトウェアを使用し, 設計したウェブデザインを表現することができるとともに, ウェブページ作成ソフトウェアの使用方法を習得し, ウェブページが作成できる。		◎	◎		・ウェブページの制作に主体的に取り組み, ソフトウェアなどを利用したウェブページ制作の基本的な知識・技術を身につけようとしていたか。また, HTML, スタイルシート, JavaScript の仕組みを理解し, ウェブページに設定できたか。

- 10 本時の指導目標 (1) ウェブページ作成ソフトウェアを使用し, 設計したウェブデザインを表現することができる。
- (2) ウェブページを作成する方法を習得している。

11 本時の展開

時 間 (分)	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体の 評価基準	評価方法
導 入 (7分)	・MetaMoji を起動する。 ・前回までの復習をする。 ・本時の目標を確認する。	・タブレットパソコンの準備と MetaMoji の起動をすみやかに行う。 ・電子黒板を効果的に使用する。		
展 開 (40分)	・ワークシートの進め方について理解する。			
	・教科書に記載されている内容を確認し, ウェブページを作成する。	・ウェブページの構成やウェブデザインの設計を適切に行う。	・ウェブページ作成ソフトウェアを使用し, 設計したウェブデザインを表現することができる。 (思考・判断・表現)	・作成内容
	・写真の編集を効果的に行う	・MetaMoji で配付したワークシートを自由に編集する。	・ウェブページを作成する方法を習得している。 (技能)	・観察
まとめ (3分)	・本時の内容を振り返る。	・本時の目標を再確認する。		